

## 《インターンシップを受け入れました》

東北電力では、当社の仕事に興味をお持ちの学生の皆さんを対象にインターンシップ※（就業体験）を実施しています。

各部門の業務に関する講義や発電所の見学、コース（電気・機械、土木・建築、原子力）ごとに設定した課題解決に向けたグループワーク等を通じて、東北電力の事業フィールドを体験いただくことができます。

※当社のインターンシップは、就業体験の機会を提供するために実施するもので、採用選考活動とは一切関係ありません。

8月の中旬から下旬にかけて、原子力コースと土木・建築コースを選択された大学生の皆さんが、女川原子力発電所に来所されました。

（8/18：原子力コース参加者17名、8/31：土木・建築コース参加者16名）

当日は、東北電力の仕事をより実感していただくため、社員と同じ作業服に着替えて受講いただきました。下の写真は、土木・建築コースの様です。



講義では、東日本大震災直後の状況やさらなる安全性向上に向けた取り組みについて説明。



防潮堤かさ上げ工事について説明。大学生の皆さんは、海拔29mの防潮堤の高さに驚きながら、工法などについて、興味深く熱心に耳を傾けていました。



3号機原子炉建屋の耐震補強工事について説明。



土木建築部では、防潮堤かさ上げ工事や淡水貯水槽設置工事などの安全対策工事を実施しており、今回はその内容を学生の皆さんに紹介しました。

安全対策工事や原子力発電に関して熱心に質問する学生の皆さんの姿を見て、自分が担当している業務の重要性を再認識することができました。

今後も皆さんに安心していただけるよう、安全最優先で工事を進めていきたいと思っております。



土木建築部 建築グループ  
まさとし  
小坂 祐暁(仙台市出身)

## 《女川原子力PRセンター 夏休み企画「小さな水族館」を実施しました》

7月22日（土）～8月20日（日）、女川原子力PRセンターでは、夏休み企画として、「小さな水族館」を実施しました。

熱帯魚や爬虫（はちゅう）類、PRセンターのマスコットキャラクター「ごろたん」のモデル「ダンゴウオ」をはじめ、女川の海に生息する生き物を展示しました。

また、期間中のイベントとして、自分で描いた魚の絵がテレビの中で泳ぎ出す「お絵かき水族館」や「夏休み親子体験教室」を開催し、夏休みの思い出づくりとして皆さんに楽しんでいただきました。

### 小さな水族館



PRセンター2階の複数の場所に水槽を設置しました。



珍しい爬虫（はちゅう）類も。



ダンゴウオはとっても小さいお魚なので、探すのが大変。

### お絵かき水族館



お絵かきで描いた魚がテレビの中の水槽を泳ぎます。

### 親子deスイーツ作り



8月5日（土）には、かわいい飾りつけをしたカップケーキを作りました。

### 親子de木工体験



8月6日（日）には、木工体験で自由工作を楽しみました。

## 《「牡鹿鯨まつり」が行われました》

8月6日(日)、牡鹿の捕鯨文化を伝承する「牡鹿鯨まつり」(主催:同実行委員会)が開催されました。

当日は、鯨の食文化を発信する鯨肉炭火焼き無料試食コーナーに長蛇の列ができたほか、牡鹿地区の小中学校によるソーランや伊達の黒船太鼓、金華山龍(蛇)踊りが披露され、多くの来場者で賑わいました。



当発電所も東北電力キャラクター「マカプゥ」の大型遊具「フワフワマカプゥ」を設置し、地域の子どもたちに楽しんでいただきました。

## 《「第25回東北電力杯ソフトボール大会」が開催されました》

9月3日(日)、第25回東北電力杯ソフトボール大会(主催:女川町ソフトボール協会、協賛:東北電力(株)女川原子力発電所)が女川町総合運動場第二多目的運動場で開催されました。

当日は天候にも恵まれ、15チーム(約250名)参加のもと熱戦が繰り広げられました。決勝戦は、アベ住建チームとアトックスチームの対戦となり12対7でアベ住建チームが見事V3を達成しました。

また、会場に足を運び、ご声援いただいた皆さま、応援誠にありがとうございました。



上位チームの成績および個人賞は以下のとおりです。

- |      |                 |         |         |
|------|-----------------|---------|---------|
| ○優勝  | アベ住建チーム(3年連続優勝) | ／最優秀選手賞 | 千葉 修平さん |
| ○準優勝 | アトックスチーム        | ／優秀選手賞  | 黒澤 拓さん  |
| ○第三位 | トンネルズチーム        | ／優秀選手賞  | 加藤 雄大さん |
| ○第三位 | 寿会チーム           | ／優秀選手賞  | 赤間 広弥さん |

## 《秋の収穫祭を実施します》

10月29日(日)午前10時～午後3時、女川原子力PRセンターにおいて秋の収穫祭を実施します。※雨天決行

女川原子力PRセンター内の果樹園で育ったりんごや大根、さつまいもなどの収穫体験の他、ご家族で楽しめる各種催しを実施いたします。

皆さまお誘い合わせのうえ、ぜひ女川原子力PRセンターにお越しください。

### 昨年の開催風景



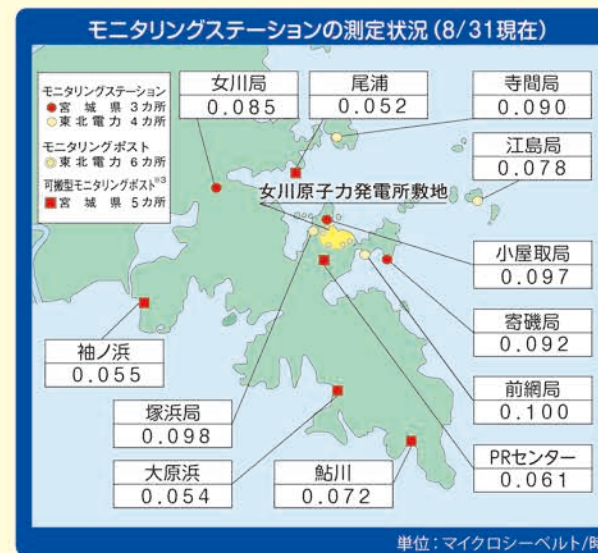
### 女川原子力PRセンター

住所: 牡鹿郡女川町塚浜字前田123 電話番号: 0225-53-3410  
開館時間: 9:30~16:30 休館日: 9月19日(火)、10月16日(月)

## 《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの現在の測定値は、最大で0.068マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



(参考)モニタリングポストの最小値と最大値

〈東北地方太平洋沖地震発生日〉	平成23年3月11日	0.027~0.064
〈地震発生後最大値〉	平成23年3月13日	1.8~21※4
〈地震発生以降毎年度(4/1)の値と至近値〉	平成24年4月1日	0.063~0.098
	平成25年4月1日	0.055~0.076
	平成26年4月1日	0.046~0.065
	平成27年4月1日	0.043~0.077
	平成28年4月1日	0.041~0.061
	平成29年4月1日	0.038~0.059
	平成29年8月1日	0.037~0.058
	平成29年8月31日	0.036~0.068

単位: マイクロシーベルト/時

※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されており、その最小値と最大値について、東北地方太平洋沖地震の発生日の値、それ以降で最大値が測定された日(平成23年3月13日)の値、毎年度(4月1日)の値、至近の値を掲載しています。

※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。

※3 宮城県では、震災により測定不能となっているモニタリングステーションの代替として、可搬型モニタリングポストによる測定を行っています。

※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。